

# 今後の議論テーマなど話し合い 第8回日野町まちづくり町民会議



設立から一年を超え、議論の方向も固まりはじめる

これからのまちのあり方や  
まちづくりなどについて話し合う、  
第8回日野町まちづくり町民会議が、  
3月27日、町役場で開かれました。

今回の会議には、委員15人  
が出席、始めに山形克彦総務  
企画課長から、平成20年度当  
初予算についての説明があり  
ました。(予算内容について  
は2〜7ページをご覧ください  
い)  
そのあと、出席した委員全  
員で、自由に意見交換が行わ  
れました。その主な内容を紹  
介します。

黒坂地区の観光振興を  
住民の手で

町民会議の内容は「広報ひの」にも掲載され、町民の理解も深まっていると思う。今回は中山間地域に合ったテーマで話し合いたい。

町民会議ができて1年が経ち、いろいろな意見・提案も出たが、話し合いだけで終わらず、自分たちが最後までや

れることを進めたい。大きなことでも自分たちでやれることを。

前回の会議で、黒坂地区のまちづくりについて、黒坂のマップを作って金持神社に置くという提案が出た。自分も鏡山城跡(黒坂)の保護活動を行っている。昨年から正式に会を立ち上げ、竹切り作業などをした結果、隠れていた石垣が見えるようになり、看板も設置した。

鏡山城はもうすぐ開城400年を迎えるので、観光資源として生かし、新しい観光ルートを作りたい。



竹切り作業を重ね、石垣が現れた鏡山城跡



根雨5区内に完成したごみステーション

ごみ収集の効率化を  
可燃ごみの置き場を定める  
ステーション方式のごみ収集

また、パンフレットも作ったので、次回の会議で配りたい。タケノコ掘りツアーを計画して、タケノコを持って帰ってもらい、石垣を見ていただくのも良いと考えている。観光マップを作っても案内する人がいないといけない。地域のボランティアを育てたい。

金持神社とからめてアイデアは出るが、「それをどうしていくのか」という話が出ない。それを形にするための話を深めたい。

について、まち部でも取り組めないかという話し合いを続けてきたが、根雨のまちに1か所できた。町からは難しいと言われていたが、やってみればできることもある。

各グループの  
議論内容を明確に

全体で話し合ったあと、テーマごとの3つの班に分かれ、今後の会議で議論する内容について、次のとおり話し合われました。

A班 高齢者の配食サービスやボランティア活動の問題は、社会福祉協議会などの専門的な人に来てもらい、話を詰めていきたい。介護でも、支えてくれる人やサービスを作っていければ良い。年度内にとこまでできるか分からないが、専門家との交流を深めていくことが必要だと考える。

B班 〓ごみの問題については、ごみ処理、リサイクルなど、それなりの話も出たが、それは個人の意識に委ねて、これからの議論のテーマは元気な

高齢者づくりに絞りたい。社会福祉協議会の人の話も聞いて、どんな組織に呼びかけるのか、自治会、老人会などに呼びかけて進めたい。  
C班 〓農業の高齢化対策、こ

## 農地保全の厳しさを体験

### 委員10人が水路清掃

これまでの会議の中で話題になってきた農地保全の大切さとその苦勞を身をもって体験しようと、3月16日、松本

豊文委員長はじめ10人の委員が、金持地区の水路清掃を行いました。

今回は景山町長も参加し、金持地内の水田につながる水

れ一本に絞りたい。今後の農業をどうしたら良いのか、先進地の視察を生かしながら、優先的に話を進めたい。また、観光による活性化をボランティアで進めたい。

次回の会議は、5月22日に開かれ、今回話し合ったテーマに沿って議論される予定です。

路の除草や泥あげ、竹切りを行いました。

松本委員長は、第8回会議の中で、「水路は大切なもので、水田に水がないと困るが、大雨などで土砂が堆積するなど管理は大変。金持地区の皆さんも重機を使って土砂を持ち上げる作業もされていた。

この体験を通して、私たち委員も何かを感じる事ができたと「思つ」と振り返りました。町民会議では、高齢化の進むまちの農業振興に向けて、農業法人化の取り組みなど、先進地の視察も行うことになっています。



集落の高齢化の中、農地保全是大きな課題